

AEDと心肺蘇生法の普及で救命率の向上に貢献

突然の心肺停止、その命を救うためには、一刻も早い心肺蘇生とAEDを使った早期の除細動が重要です。救急車が来る前に、私たち一般市民がAEDを使うことで、救える命があります。



突然の心肺停止における救命率5%未満という現実

現在日本では、心源性による突然の心肺停止が、年間約73,000件以上発生しており、そのうち23,800件程が一般市民の目の前で起こっています※1。この突然の心肺停止に対する治療法として有効と考えられているのが、一刻も早い心肺蘇生を施すこととAED（自動体外式除細動器）による迅速な除細動※2です。もし仮に、心肺停止時に一般市民による応急手当てがなかった場合、救命率は5%に満たないと言われています※1。心肺停止を発見し、すぐに119番通報を行っても、救急車が到着するまでには平均で8.3分かかるとされ、救急車を待っているだけで心肺蘇生と除細動を行わないと、1分ごとに蘇生率が7~10%低下していくと言われています。そのため、AEDを身近な場所に備え付けておくことはもちろん、救急車が到着する前に、一般市民が心肺蘇生を施し、一刻も早くAEDを使用して除細動を行うことがとても重要になります。

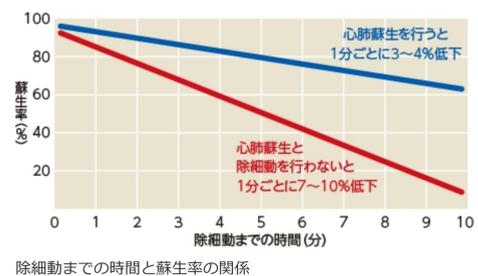


株式会社大林組で実施した心肺蘇生講習

※1 総務省消防庁「平成25年版 救急・救助の現況」より
 ※2 電気的な刺激（電気ショック）などによって心室細動（心室が小刻みに揺れて血液を正常に送れない状態）を取り除くこと

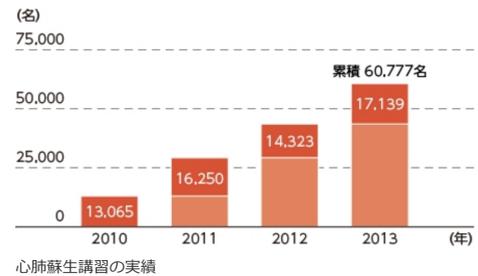
AEDの導入とともに実践的な心肺蘇生法講習サービスを実施

キヤノンマーケティングジャングループ（以下、キヤノンMJグループ）は、一人でも多くの命を救い、社会に貢献する事業として2009年から全国の一般企業や学校、公共機関に対して、AEDの販売を開始。現在では、幅広いラインアップから、お客さまのニーズに最適なAEDの導入をサポートします。また、2010年からはAEDの導入とあわせて、AEDを使った心肺蘇生講習サービスも実施しています。NPO法人大阪ライフサポート協会公認の従業員インストラクターが、119番通報から人工呼吸・胸骨圧迫・AEDを使った除細動まで一連の流れを指導しています。心肺蘇生講習は、2010年から2013年までの4年間で、累積4,135件、延べ60,777名の方に受講していただいています。今後は、2017年度末までに10万人の受講を目標としています。



AEDのさらなる普及に向け従業員インストラクターを育成

キヤノンMJグループは、これからもより多くの地域で、より多くの方に心肺蘇生講習を受けていただけるよう、従業員をインストラクターとして育成する取り組みを進めています。2014年4月現在で、グループ内で約200名の従業員インストラクターがAEDと心肺蘇生講習の普及に取り組んでいます。今後は、2017年末までに従業員インストラクターを500名の体制に拡充するとともに、キヤノンMJグループの従業員全員がAEDの使い方と心肺蘇生講習の受講を完了し、万が一の場合、救命活動に自ら参加する勇気と技能を身に付けていきたいと考えています。キヤノンMJグループは、今後も継続してAEDと心肺蘇生法の普及に努め、救急救命率の向上に貢献していきます。



お客さまの声：今後も、いざという時に役立つ講習を期待しています

大林組は、事業に関わるすべての人々を大切にすることを基本理念の中で謳っており、建設現場の安全を最重要事項と考えています。多くの人が働く建設現場では、作業中に持病などによる心臓疾患を発病し、高度障害や最悪の場合には死亡に至るケースが起こる可能性もあります。そのため、2010年から全国の建設現場にAEDの設置を開始しました。キヤノンMJグループには、幅広い製品ラインアップがあり、心肺蘇生法の講習サービスも充実していることから、AEDの導入をサポートしていただきました。キヤノンMJグループの今回の講習会には、建設現場に勤務する職員45名が参加しました。AEDをはじめ使った参加者も多かったのですが、講師の方の説明が具体的で分かりやすく、大変好評でした。建設現場は人の入れ替わりが多いため、今回の参加者には、AEDの使い方や心肺蘇生法をまわりのスタッフにも伝えていって欲しいと考えています。AEDは、設置するだけでなく、万が一の時に使えなければ意味がありません。AEDを設置している建設現場に対しては、少なくとも年に1回は講習を受けるよう指導しています。大林組は全国各地に建設現場があり、いつもたくさんの人々が働いています。キヤノンMJグループには、全国に広がるネットワークを活かして、建設現場でいざという時に役立つ心肺蘇生法の講習サービスを今後も期待しています。



株式会社大林組
 東京本店 建築事業部
 安全環境部 事務課 副課長
 藤井 健さん（左）
 労務安全部 労務安全課 副課長
 鈴木 仁さん（中）
 労務安全部 労務安全課 主任
 吉村 美佳さん（右）

CSR情報

🔗 [キヤノンMJグループのCSR活動ページへ](#)

お問い合わせ

🔗 [キヤノンMJグループのCSRに関するお問い合わせはこちら](#)

🔗 [これまでの取り組み一覧へ](#)

🔗 [Business with CSR トップへ](#)